

加東市水道事業経営戦略（素案）に係るパブリックコメント意見

意見番号	意見（概要）	意見提供者	見 解	備 考
1	<p>厚生労働省「地域水道ビジョン策定の手引き」には、環境対策の項目として、環境影響の低減に関する記載がある。本来なら、次年度策定予定の次期水道ビジョンへの記載が相応しいと思うが、本経営戦略の計画が次期水道ビジョンの策定を見据えたものと位置づけていることから、「環境面」の取り組みについて、何らかの記載をするべきではないか。</p> <p>厚生労働省の「水道事業における環境対策の手引書（改訂版）」の「第Ⅲ編 水道事業における環境対策の具体例」として、水道事業で導入可能な省エネルギー・省CO2対策が紹介されており、今後10年を見据えた戦略に環境対策は欠かせない。マイクロ水力発電や未利用エネルギーである下水熱利用など、可能性調査に必要な国からの補助金等も用意されている。</p> <p>挑戦的ではあるが、検討価値はあるので、本経営戦略にその姿勢を示し、次期水道ビジョンに具体的な検討項目を取り上げていただきたい。</p>	市内在住 成人男性	<p>水道事業が実施可能な環境対策として、省エネルギー・省CO2、再生可能エネルギーの導入等があります。</p> <p>これらの導入については、水道事業が多大な電力消費を伴う事業であり、環境対策の中で、とりわけ地球温暖化防止に取り組む姿勢を示すことは社会的責務でもあるため、次期水道ビジョンの中で環境対策への基本方針及び方向性と実現方策を示すよう策定を進めています。</p> <p>ご意見のとおり、本経営戦略は、次期水道ビジョンの策定を見据えた位置づけであり、環境対策への姿勢を示すため、「第5章投資・財政計画」の（2）施設の整備方針の項目において、よりエネルギー効率の優れた機器など新技術の活用についても積極的に取り組むことを追加で記載しました。</p> <p>なお、今後の投資計画において、環境対策への取り組みについては、「第6章投資・財政計画への未反映事項の取組方針」の（3）施設・設備の合理化の項目においても、環境面に配慮し、施設統廃合や配水区の見直しといった供給形態の改善による効率的な設備運転に取り組むことを追加で記載しました。</p>	